

秋田自動車道  
峠山トンネル工事用仮橋設置工事

割掛対象表参考内訳書

- ・割掛対象表参考内訳書は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではない。
- ・割掛対象表参考内訳書の内容に関する質問は受付けない。

令和 8 年 4 月

東日本高速道路株式会社 東北支社  
横手工事事務所

## 割掛対象表参考内訳書

### 【共通仮設費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工事中機械 分解組立費 （１）	南本内川仮橋の架設に用いるクローラクレーンの分解、 組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用	・運搬距離：基地（岩手県）～南本内川仮橋 片道73km ・クローラクレーン（200 t 吊）－１台－１往復	
工事中機械 分解組立費 （２）	小荒沢地区仮橋Aの架設に用いるクローラクレーンの 分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する 費用	・運搬距離：基地（岩手県）～小荒沢地区仮橋A 片道78km ・クローラクレーン（200 t 吊）－１台－１往復	
工事中機械 分解組立費 （３）	小荒沢地区仮橋Bの架設に用いるクローラクレーンの 分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する 費用	・運搬距離：基地（岩手県）～小荒沢地区仮橋B 片道77km ・クローラクレーン（150 t 吊）－１台－１往復	
仮設材等 運搬費 （１）	南本内川仮橋、小荒沢地区 仮橋B・仮橋C・土工部③ ・仮設材等（覆工板（標準品）、H形鋼、形鋼類、板鋼、 小部材、鋼管、鋼管杭、鋼矢板及び敷鉄板等）を集約 置場（岩手県）から現場まで運搬するために要する費 用	・運搬距離：基地（岩手県）～南本内川橋 片道73km 運搬鋼重：648 t ・運搬距離：基地（岩手県）～小荒沢地区 片道77km 運搬鋼重：204 t	
仮設材等 運搬費 （２）	南本内川仮橋 ・仮設材（覆工板（製作品））を製作工場（宮城県）か ら現場まで運搬するために要する費用 南本内川仮橋・小荒沢地区 仮橋B ・仮設材（プレードガーダー橋（付属物含む））を集約 置場（茨城県）から現場まで運搬するために要する費 用 ・仮設材（トラス・パネル）を集約置場（大阪府）から 現場まで運搬するために要する費用	・運搬距離：基地（宮城県）～南本内川仮橋 片道161km 運搬鋼重：6 t ・運搬距離：基地（茨城県）～南本内川橋 片道414km 運搬鋼重：90 t ・運搬距離：基地（茨城県）～小荒沢地区 片道418km 運搬鋼重：84 t ・運搬距離：基地（大阪府）～南本内川橋 片道887km 運搬鋼重：51 t	
仮設材等 運搬費 （３）	小荒沢地区 仮橋A ・仮設材（覆工板（標準品）、H形鋼、形鋼、板鋼、小 部材、鋼矢板及び敷鉄板等）を集約置場（岩手県）か ら現場まで運搬するために要する費用	・運搬距離：基地（岩手県）～小荒沢地区 仮橋A 片道78km 運搬鋼重：1,279 t	
仮設材等 運搬費 （４）	小荒沢地区 仮橋A ・仮設材（覆工板（製作品））を製作工場（宮城県）か ら現場まで運搬するために要する費用 ・仮設材（プレードガーダー橋（付属物含む））を集約 置場（茨城県）から現場まで運搬するために要する費 用	・運搬距離：基地（宮城県）～小荒沢地区仮橋A 片道165km 運搬鋼重：2 t ・運搬距離：基地（茨城県）～小荒沢地区仮橋A 片道419km 運搬鋼重：662 t	

仮設防護柵 運搬費	仮設防護柵を湯沢 I C 資機材置場から現場まで運搬するために要する費用	・湯沢 I C 資機材置場での積込費 ・湯沢 I C 資機材置場～現場までの運搬費 運搬距離:54km(片道)	
地質調査等 費	小荒沢地区仮橋 B (150 t クローラクレーン設置位置)、仮橋 C (基礎の四隅) における平板載荷試験に要する費用	・仮橋 B 作業ヤード 1 箇所×1 回 (図示) ・仮橋 C 4 箇所×1 回 (基礎四隅)	
レーザーバ リア警報監 視システム 費	小荒沢地区 仮橋 A ・交通供用中の I 期線小荒沢橋内への、クレーンのブームや吊り荷等の進入物をレーザーで自動監視し、警報を出力するシステムの構築・運用に要する費用	・レーザーバリア警報監視システム 一式 (レーザースキャナー、回転警告灯、制御装置、送信機、パーソナルコンピュータ等) リース期間:18ヵ月	

### 【準備工事費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面
作業ヤード整 備費	架設作業ヤード整備及び仮橋 B の K A 1 橋台前面の現地盤をすき取るために要する費用	・道路掘削 (土砂 E) $V=882\text{ m}^3$ ・捨土掘削 (土砂 E) (運搬先南本内本線外盛土場 $L=4.4\text{ km}$ ) $V=144\text{ m}^3$ ・再生砕石路盤工 ( $t=20\text{ cm}$ ) $A=823\text{ m}^2$ ・耐候性大型土のう (製作・設置) (南本内ヤード表土使用) $n=1045\text{ 袋}$ ・大型土のう運搬 (南本内ヤード～現場、 $L=4.4\text{ km}$ ) $n=1045\text{ 袋}$	○

### 【雑工事費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面
のり面仕上げ 費	小荒沢地区土工部①②における切土、盛土のり面ののり面仕上げに要する費用	・切土のり面 $A=219.0\text{ m}^2$ ・盛土のり面 $A=619.0\text{ m}^2$	○
のり面保護費	小荒沢地区土工部②の盛土側路肩部及び既設ブロック積側路肩部保護に要する費用	・コンクリートシール ( $\sigma_{ck}=18\text{ N/mm}^2$ ) $t=10\text{ cm}$ 盛土側 (左側) $A=107.7\text{ m}^2$ 既設ブロック積側 (右側) $A=63.7\text{ m}^2$	○
河川油濁水防 止費 (1)	南本内川の油濁水防止 (燃料等油脂類流出防止) を目的としたオイルフェンスの設置に要する費用 (製品購入費を含む)	・オイルフェンス (フロート $\Phi 200\times$ 水面下 $300\text{ mm}$ $\times$ 長さ $70\text{ m}$ ) の製品購入・設置 ー1 式	○
河川油濁水防 止費 (2)	小荒沢の油濁水防止 (燃料等油脂類流出防止) を目的としたオイルフェンスの設置に要する費用 (製品購入費を含む)	・オイルフェンス (フロート $\Phi 200\times$ 水面下 $300\text{ mm}$ $\times$ 長さ $55\text{ m}$ ) の製品購入・設置 ー1 式	○

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
のり面仕上げ 費	小荒沢地区土工部①②における切土、盛土のり面ののり 面仕上げに要する費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切土のり面 <math>A=219.0\text{m}^2</math></li> <li>・盛土のり面 <math>A=619.0\text{m}^2</math></li> </ul>	○
のり面保護費	小荒沢地区土工部②の盛土側路肩部及び既設ブロック積 側路肩部保護に要する費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリートシーラ（<math>\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2</math>） <math>t=10\text{cm}</math></li> <li>盛土側（左側） <math>A=107.7\text{m}^2</math></li> <li>既設ブロック積側（右側） <math>A=63.7\text{m}^2</math></li> </ul>	○
現場溶接費	南本内川仮橋 下部工（２）（３）の現場溶接に要する費用。 ただしビード仕上げを要しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場溶接（<math>6\text{mm}</math> 換算）<math>L\approx 313\text{m}</math>（鋼管に取付ける Guss 等）た だし、小型製作部材（トラスガイド材・上下弦材連結金具等） 及びミル取付け部材（杭先端バンド・吊り金具等・天板 P L） の溶接長は含まない。</li> </ul>	